

給与支払報告書 に係る給与所得者異動届出書
 特別徴収

留 萌 市 長 殿 年 月 日 提出		給与支払者 〔特別義務者〕	所在地	〒		特別徴収義務者 指定番号		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度					
			フリガナ			宛名番号											
			氏名又は名称			連 担 絡 当 先 者	所属										
			個人番号又は 法人番号				氏名										
						電話			内線()								
給 与 所 得 者	フリガナ			(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異動 年 月 日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法 (注)								
	氏名																
	生年月日	年	月							日							
	個人番号																
	受給者番号																
	1月1日 現在の住所																
異動後の 住所			円		円		円										

1. 特別徴収継続の場合

新 しい 徴 収 義 務 者 先	特別徴収義務者 指定番号			個人番号又は 法人番号			新しい勤務先へは月額割_____円を □ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。					
	所在地	〒		担 当 者 連 絡 先	所 属			受給者番号				
	フリガナ			氏 名			納入書の要否 (新規の場合のみ記載)		<input type="checkbox"/> 右から番 号を記入	1. 必要 2. 不要		
	氏名又は名称			電 話			内線()					

2. 一括徴収の場合

理 由	□ 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 右から 番号を記入 2. 異動が 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定月 日	徴収予定額(上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は □ 月分(翌月10日納入分)で 納入します。	
		月 日	円		

3. 普通徴収の場合

理 由	□ 1. 異動が 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 右から 番号を記入 2. 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職のため	記市 入町 欄村
--------	--	----------------

(注) 新年度分又は両年度分の異動届出書を作成する場合における「移動後の未徴収税額の徴収方法」欄等の記載方法

- ① 新年度分の異動届出書を作成する場合であって、新しい勤務地において特別徴収されることを希望する場合、本欄は記載せずに「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記入してください。普通徴収されることを希望する場合、本欄及び各徴収方法欄は記入不要です。
- ② 両年度分の異動届出書を作成する場合、本欄は移動年月日時点で現に特別徴収している特別徴収税額について記載してください。
- ③ 両年度分の異動届出書を提出する場合における、現年度分及び新年度分それぞれの異動後の税額については、原則として以下の徴収方法によることを希望しているものとして扱われます。

(現年度分) 本欄で選択した徴収方法

(新年度分) 「1. 特別徴収継続の場合」欄に記載があった場合は新しい勤務先における特別徴収。記載がなかった場合は普通徴収。